学校番号	111

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小中学校の書写より、取り扱う書体が増え、もっと広い範囲の文字の表現を学びます。
・多くのトレーニングを積み、技術の向上を目指します。
・過去の作品や書道理論、書道史に触れ、それを生かしながら自分の表現したい技法を身につけ作品を制作していきます。
・他の人が制作した作品を鑑賞し、豊かな感性をはぐくみます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の公正と工夫	c:創造的な諸表現の技能	d.鑑賞の能力
観点の趣旨	所の創造的活動の喜びを味わい、所の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な諸表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート ・	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1	書道の基本	・用具の扱い ・基本点画の用筆法 ・書体の違い、楷書と行書	○	○	○	○	a:用具や基本の用筆法、書体の違いに興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 用具や基本の用筆法、書体の違いを理解し、表現を工夫している。 c: 用具の扱いや基本の用筆法、書体の違いの技法を身につけ表現している。 d: 用具の扱いを理解し、基本の用筆法による表現や、書体の違いを味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト
	楷書を学ぶ	・楷書の基本用筆 ・楷書の古典(「蘇孝時慈墓誌銘」)の臨書 ・楷書の古典を生かした倣書作品の制作	○	○	○	○	a:楷書について興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:楷書の用筆法を身につけ表現している。 d:楷書の古典のよさや美しさを味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト
	行書	・行書の基本用筆 ・行書の古典(「蘭亭序」)の臨書 ・行書の古典を生かした倣書作品の制作	○	○	○	○	a:行書について興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:行書の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:行書の用筆法を身につけ表現している。 d:行書の古典のよさや美しさを味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト
2	日常の書の書体	・日常生活で使用されている書の書体別(楷書・行書・平仮名)分類	○	○	○	○	a:生活の中の書に興味を持ち、学んできた楷書・行書の特徴を考え意欲的に取り組もうとしている。 b: 生活の中の書に興味を持ち、学んできた楷書・行書の特徴を考え表現を工夫している。 c: 生活の中の書に興味を持ち、学んできた楷書・行書の特徴を考え見分ける力を身につけている。 d: 生活の中の書に興味を持ち、学んできた楷書・行書の特徴を考えその違いを味わっている。	ワークシート

	篆書・隷書・草書をまなぶ	・篆書・隷書・草書の基本用筆	○	○	○	○	a: 篆書・隷書・草書について興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書・隷書・草書の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c: 篆書・隷書・草書の用筆法を身につけ表現している。 d: 篆書・隷書・草書のよさや美しさを味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト
	篆刻を学ぶ	・篆書を使った消しゴムの落款印の制作 ・校字、印稿・布字 ・楷書作品、行書作品に押印する	○	○	○	○	a: 篆刻について興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻の表現を工夫している。 c: 篆刻における印稿や布字の技法を身につけ表現している。 d: 篆刻作品のよさや美しさ、作品に押印したときの効果を味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト
3	漢字仮名交じりの書を学ぶ	・用具・用材、運筆・用筆の違いによる表現 ・構成・文字の大きさの違いによる表現 ・古典をよりどころにした表現	○	○	○	○	a:漢字仮名交じりの書に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:漢字仮名交じりの書の表現を工夫している。 c:漢字仮名交じりの書の技法を身につけ表現している。 d: 漢字仮名交じりの書のよさや美しさを味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト
	仮名を学ぶ	・仮名の成立、歴史的理解 ・仮名の単体、基本用筆 ・連綿、変体仮名 ・古筆(「蓬莱切」)の臨書	○	○	○	○	a:仮名に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の表現を理解し、工夫している。 c:仮名の技法を身につけ表現している。 d: 仮名よさや美しさを味わっている。	観察 作品提出 ワークシート 小テスト

	展覧会鑑賞	・本校のコース発表会や他行の発表会の鑑賞 ・鑑賞レポートの作成	○	○	○	○	a:展覧会や他の人が制作した作品に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:鑑賞のポイントを理解している。 c:鑑賞内容をレポートとしてまとめることができている。 d: 芸術作品や発表物のよさや展覧会自体のよさを味わっている。	観察 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の公正と工夫
　　c:創造的な諸表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。